

1. Cinderella, R, Maxima をインストールする.

- <https://beta.cinderella.de> (Cinderella)
- <https://cran.r-project.org> (R)
- <https://sourceforge.net/projects/maxima/files> (Maxima)
- <https://www.sumatrapdfreader.org/download-free-pdf-viewer.html> (Sumatra)

注) Sumatra は Windows だけである.

注) ダブルクリックして, 起動するかを確認する.

2. TeX をインストールしていない場合はインストールする.**(1) TeXLive を推奨**

- 2018 以降では ketcindy が既に入っている.

(2) KeTTeX は TeXLive の軽量版

- kettex.dmg を以下からダウンロードできる.
<https://www.dropbox.com/s/fthw4btjqqs33tc/kettex.exe?dl=0>
- ダブルクリックしてできる kettex を C:\\に入れる.

(3) 他の TeX の場合は, 3.(2) を参照する.**3. KeTCindy のインストール****(1) ketcindy を CTAN(<https://ctan.org>) からダウンロードする.**

ketcindy で検索 > Package ketcindy > download

注) 最新版は, Repository のサイト

<https://github.com/ket-pic/ketcindy>

から以下のようにダウンロードできる.

Clone or download > Download ZIP

注) この場合は, ketcindy-master になる.

(2) ketcindy(-master)/forWindows を開く.

注) Windows10 の場合, セキュリティブロックを解除する.

右クリックして「プロパティ」>「セキュリティ」>「許可」

注) 他の TeX (TeXLive, W32tex 以外) を使っている場合

- setketcindy.bat をテキストエディタで開く.
- パスを修正する.

(3) 次のバッチファイルを右クリック「管理者として実行」を選ぶ.

KeTTeX	setketcindy.bat
TeXLive	setketcindytexlive.bat
W32TeX	setketcindyw32J.bat
他の TeX	setketcindy.bat (要修正)

- scripts の中身が TeX にコピーされる
- ketcindy の style ファイルが TeX にコピーされ mktexlsr が実行される.
- Cinderella の Plugins に KetcindyPlugin.jar をコピー, ketcindy.ini が作成される.

(4) setnetwork.bat をダブルクリック

- ・ 作業ディレクトリ `ketcindy` がユーザホームに作成される。
- ・ タイプセットの方法 (TeX の種類)
 - 通常は, `platex (p)` または `uplatex(u)` を選ぶ。
- ・ R, Maxima では, バージョン番号 (3.4.2, 5.37.3 など) を入れる。
- ・ `ketcindy` フォルダに `work` フォルダの中身がコピーされる。
- ・ `.ketcindy.conf` (編集可能) がユーザホームに作成される。
 - 注) TeX を切り替えるときなどはこのファイルを修正する。
- ・ マニュアルもコピーされる。
- ・ 作業ディレクトリに `ketcindy.conf` の雛形がコピーされる。
- ・ KeTCindy を立ち上げたとき, 設定ファイルは次の順に読み込まれる。
 - 1) `ketoutset.txt`
 - 2) ユーザホームの `.ketcindy.conf`
 - 3) 作業ディレクトリ `ketcindy` の `ketcindy.conf`

4. KeTCindy のテストラン

- (1) 作業ディレクトリ `ketcindy` を開く。
- (2) `ketcindy` の中の `template1basic.cdy` を選び, 「情報を見る」を開く。
 - ・ アプリケーションが所定の Cinderella2 になっていることを確かめる。
 - ・ 「情報」を閉じて, `template1basic.cdy` をダブルクリックする。
 - ・ 画面に白い枠が出れば, ライブラリの読み込みは成功。
- (3) スクリーンの左上部にある Figure ボタンを押して, PDF が表示されれば成功。

注) PDF の表示後, ターミナル画面を閉じるようにするには

- ・ アプリケーション / ユーティリティ / ターミナルを開く
- ・ トップメニューから
 - ターミナル > 環境設定 > (プロファイル) > シェル
 - 「シェルが正常に終了した場合閉じる」を選択

5. TeXworks の設定 (kettex の場合)

- ・ <https://github.com/TeXworks/teXworks/releases/> からダウンロードできる。
 - ・ TeXworks を立ち上げる
 - ・ TeXworks > ファイル > 設定 > タイプセット
 - ・ 上の欄 (パス) に以下を追加
 - `C:\kettex\texlive\bin\win32`
 - 注) 上の行を上欄の先頭になるように移動する。
 - ・ 下の欄の横にある + をクリック
 - ・ 名前: `uplatex(ptex2pdf)` または `platex(ptex2pdf)`
 - ・ プログラム: `ptex2pdf`
 - ・ 引数:
 - `-u` (uplatex の場合のみ)
 - `-l`
 - `-ot`
 - `$synctexoption`
 - `$fullname`
- OK ボタンを押し, デフォルトを変更して OK ボタンを押す。

6. gcc のインストール

- ・ 曲面描画のためには, gcc が必要である.
- ・ minGW のホームページ <http://www.mingw.org> から
download > Install > mingw-get-setup.exe
をダウンロードして実行
注) パッケージは, mingw32-base, mingw32-gcc-g++だけでよい.